

『アキアカネ復活プロジェクトⅡ 環境教育教材化をめざして』

木下 泰良 瀬尾 大翔 瀧谷 咲月 藤本 航平

指導教員 田村 統

1 研究の目的(ねらい)や意義(背景)

たつの市は童謡「赤とんぼ」の里として知られている。歌詞の「赤とんぼ」のモデルはアキアカネであるとされているが、近年アキアカネは全国的に減少しており、兵庫県レッドデータ要注目種となった。

先輩方が昨年つくったビオトープの調査を引き継ぐとともに、アキアカネの地域の環境教育への活用を目標に、アキアカネ人工孵化・人工飼育の方法の確立を目的とした。

2 進捗状況

- ① 昨年採卵したアキアカネ冷蔵保存卵の孵化率を月ごとに調べた。ビーカーにくみ置き水と冷蔵保存卵を入れ、常温下で経過を観察した。

結果：本来の孵化時期を2か月ほど過ぎた冷蔵保存卵であっても、80%以上の孵化率だった。

- ② アキアカネの1齢ヤゴの餌として、何が適しているかを調べた。ミジンコ・ミドリムシ・クロレラ・ブラインシュリンプをそれぞれ与えて飼育した場合について、ヤゴの生存率を求めた。

結果：ミドリムシ・クロレラを与えたヤゴの生存率が高かった。

- ③ 昨年造成したビオトープ内の生物の個体数や、アキアカネのヤゴがいるかどうかを調査した。

結果：アキアカネの幼虫は確認できなかった。

アメリカザリガニやアカハライモリ、ギンヤンマのヤゴなど、アキアカネのヤゴの天敵となりうる生物が多く見られた。

3 今後の展望

- ① ビオトープでアキアカネが繁殖できるよう、天敵を取り除く方法を考える。
(ザリガニホイホイ・ギンヤンマ侵入防止柵など)
- ② アキアカネ保存卵の孵化実験を継続して行う。



図1 1齢幼虫と卵



図2 アカムシを捕食



図3 羽化